

弥富市自殺対策計画（素案）に対するパブリックコメントの実施結果については、以下のとおりです。

案件名	弥富市自殺対策計画（素案）		
募集期間	平成31年2月8日（金）～平成31年2月28日（木）		
担当課	民生部 健康推進課		
募集結果の概要	弥富市自殺対策計画（素案）に対する意見を募集した結果、3人の方から4件の意見が提出されました。		
意見提出数	持参	0人	0件
	郵送	0人	0件
	ファクシミリ	1人	1件
	電子メール	2人	3件
	合計	3人	4件

提出されたご意見等と市の考え方

No.	ご意見・ご提言の概要	市の考え方
1	8ページ（2）年代別自殺者数の30代が多いのが気になります。 年代的に仕事、家庭など悩みを抱えて失望からの結果と考えますが、自治体などで職業訓練や臨時職員を募集するなど、若人に希望を持たせるように出来たらと思います。	ご指摘のとおり30代の自殺者数が多い現状があります。30代の自殺者の特徴として、有職者も無職者も多いことが分かっています。 無職者に対しては、生活困窮者自立支援事業や失業者に対する相談窓口の充実、若年者就職相談（27ページ）などを通じて、支援をしていきたいと思っております。 また、有職者に対しては、職場におけるメンタルサポート、勤務者・経営者への健康不安軽減を目的とした健康講座、長時間労働の是正や経営相談（38ページ）などを通じて、支援していきたいと思っております。

2	<p>21 ページ1 地域における連携・ネットワークの強化がテーマであるところに 31 ページの1 段評価項目が自殺対策庁内推進会議だけでは寂しいと思います。</p> <p>庁外関係他機関との連携会議の開催も目標とするよう提案します。</p>	<p>市職員全員がゲートキーパー研修を受講し、市長をトップとした庁内全体で自殺予防対策を講じてまいります。</p> <p>今後、ご意見をいただきました内容を踏まえ、関係機関などと連携を図り、検討・推進してまいります。</p>
3	<p>22 ページ1 ゲートキーパーの養成3 段職員向けゲートキーパー養成研修の開催と5 段ゲートキーパー養成研修を受講はどちらも市職員がゲートキーパー養成研修を受講すると思われませんが違いが分かりにくい文言になっています。</p> <p>視点はとても良いので、市職員全員受講を達成してください。</p>	<p>ご指摘のありました点を踏まえ、3 段目の内容「専門職従事者や職員」を「全職員」に、5 段目の取組「ゲートキーパー養成研修を受講」を「ゲートキーパーの活躍」とし、内容「職員が」を「ゲートキーパー養成研修修了者一人ひとりが」とし、関係課等「全職員」を「ゲートキーパー養成研修修了者」に修正いたします。</p> <p>身近で悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人、すなわちゲートキーパーになることを市全体で取り組んでまいります。</p>
4	<p>35 ページ第5 章重点施策1 高齢者への対策で過去5 年間の自殺者のうち60 歳以上の割合が47.6%と高いことに驚いています。私たち弥富健康づくりはつらつ会の活動では、福寿会の会員には自宅で出来る運動や健康に良い食事のことなどを話し、健康への関心を持っていただいています。</p> <p>また、各地区のふれあいサロンでは、きんちゃん体操やゲームなどを行い、ふれあいやぬくもりを感じいただき、帰るときには「また来てね」と声掛けをしています。このような場所を身近に作ることによって、孤独による自殺が少しでもなくなることを願っています。</p>	<p>はつらつ会の皆様には弥富市の健康増進事業に多大なご協力をいただきありがとうございます。</p> <p>高齢者の自殺率が高いという現状が明らかになりました。これからも活動を続ける中で、気づき発見を大切にいただき、身近で安心できる居場所を一緒につくっていただければと考えます。</p> <p>誰も自殺に追い込まれることのないまちを目指して市全体で取り組んでまいります。</p>